

家庭学習のてびき

気仙沼市立面瀬小学校

☆ご家庭のみなさまへ

- ◇家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣を身に付けるためにとても大切なことです。
- ◇小学校のうちに机に向かう習慣を付けることが、これからの学習に大きな影響を与えます。子供をあたたく見守りながら、家庭学習の習慣化を共に進めていきましょう。

家庭学習のさせ方

『必ず机に向かう』習慣を身に付けさせましょう。

◇時 間 学年×10分+10分

1年生で20分、6年生で70分が目安です。

- ◇内 容
- ・音読、漢字練習、算数または国語プリント、つみき学習（算数タブレットドリル）は基本的に毎日行います。**全校統一して取り組みます。**
 - ・その他に先生から宿題が出される場合があります。
 - ・中学年以上は、家庭学習のてびきを参考に、自学に取り組んでもよいです。



		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
時間の目安		20分	30分	40分	50分	60分	70分
内 容	音読	○	○	○	○	○	○
	漢字	○	○	○	○	○	○
	国語または算数プリント	○	○	○	○	○	○
	つみき学習（タブレットドリル）	○	○	○	○	○	○
	自学・作文			○	○	○	○
※自学・作文については、毎日ではなく、当該学年の担任からの指示のもとに週末等に行います。							

「答え合わせ・ふり返りをする意味」

子供たちにとって、答え合わせは「正解・不正解」を確かめるだけの活動だと思われがちです。実際は、学習内容の理解に関わる重要なものと言えます。不正解だった問題について「どこが?」「どうして?」と考えることで、自分の弱点を知ることができます。その上で再び考えたり練習したりすることが「確かな定着」へとつながっていきます。『間違えることが、より確実に覚えることにつながる』と言え、より深い学びになっていきます。

※お子さんの家庭学習の内容には、必ず目を通してください。

- ① 落ち着いて学習できる環境を作りましょう。
 - ・「テレビを見ながら」「音楽を聴きながら」「おやつを食べながら」などの「ながら学習」はさせないようにして下さい。
- ② 子供のやる気を引き出しましょう。
 - ・意欲的に学んだ時に、ほめたり励ましたりして、さらにやる気を引きしてください。

それぞれの家庭学習の進め方について

音読について

国語の教科書や絵本など、声を出すことで表現力の育成につながります。文を短く区切って同じ所を何度か練習させたり、短く読んだ後に追いかけて読ませたりしても効果があります。「音読を聞いてもらえる」ということがさらに効果を上げます。

漢字練習について

その学年で習得すべき漢字を繰り返し練習します。新出漢字を一文字ずつ練習するのではなく、漢字スキルを参考にして、熟語や短文にして、練習することをおすすめします。また、しっかりと丁寧に書くことで、習得率の向上につながります。

プリントについて

その学年で習得すべき計算方法や内容を繰り返し練習します。答えだけを書くのではなく、式の立て方やどうしてそうなったのか、解決方法を書くことができるようにすることをおすすめします。

つみき学習(タブレットドリル)について

東京書籍のタブレットドリルを使った算数のドリル学習です。つみきのようにこつこつと積み重ねて力を付けさせたいという思いで「つみき学習」という愛称をつけました。やり方は次の通りです。

～つみき学習の進め方～

- ①自分の学年より1つ下の学年からスタートします。
- ②自分のペースで進みます。10分程度でできる問題のまとまり(1ユニット)を毎日することが基本となります。しかし、早く進みたい人は、1日に2ユニット、3ユニットと取り組んでもよいです。
- ③各ユニットの点数を「つみき学習記録カード」に記録します。
- ④学習をどんどん進めて、今の学年の学習を追い越してもよいです。単元は教科書と同じ順番になっているので、教科書を見ながら予習として取り組んでもよいです。6年生の学習が終わった人は、中学入試レベルのスペシャル問題も用意しているのでチャレンジするのもよいです。
- ⑤金曜日の業前の「つみきタイム」は、1週間の自分の「つみき学習」の取り組みについて先生に報告・相談する時間です。先生は「つみき学習記録カード」や管理画面で学習の様子を確認できるので、進んだり、戻ったりする単元やよく分からないところについて相談しましょう。

こんな自学をしてみよう(例)

3・4年生

- ・教科書の問題などの計算練習をしてみよう
- ・コンパスや分度器の使い方を練習しよう
- ・辞書を使って意味調べをしよう
- ・ことわざを調べよう
- ・生き物や天体を観察しよう
- ・地図帳を使って地名や特産品を調べよう

5・6年生

- ・教科書やスキル等の問題を繰り返し解こう
- ・公式や図形の性質、用語をまとめよう
- ・ニュースや新聞を読んで感想を書こう
- ・偉人を調べたり、歴史年表を作ったりしよう
- ・実験器具の使い方をノートにまとめよう
- ・気仙沼のSDGsの取組を調べよう

3年生以上の作文は、「○○になりきって」「もしも○○したら」など、決められたテーマについて自分の考えを書く、テーマ作文にも挑戦します。「楽しく書く」「たくさん書く」をモットーに思考力と表現力の向上を目指します。